

第2回ワークショップの結果概要

1 用途別方針について

(1) 市民文化系施設

①集会施設

- 小学校区に公民館は1つという方針だと、小羽や下夕の公民館は廃止されてしまうことになるが、大沢野地域は南北に長いので他の地区の公民館まで行くのが難しい。地域の特性を考えると現実的ではないと思う。
- 地区内の公民館がなくなると、行事や集会をする場がなくなり、過疎化が更に進むのではないかと不安だ。
- 山間部では地すべりの危険性がある中、公民館がなくなるということは、避難所がなくなるとのことなので、全ての公民館を維持してほしい。廃止するとしたら、避難所機能をなんらかの形で地区内に残してほしい。
- 下夕に公民館がなくなっても細入のものを使えばよい。代替できる施設があるなら、再編して財政負担を減らす方が、子どもたちの将来のためになると思う。
- 公民館を廃止する場合に、空き家や学校の余裕教室を活用して、代替機能を確保するのはよい方法だと思う。
- 児童生徒が増えている学校では、余裕教室を集会施設にするのは難しいだろう。現状では地域と学校の連携ができていたとは言えず、人の出入りが増えることによるリスクも考えると、学校の敷地内に施設を移転するくらいが、ちょうどよい子どもと大人の距離感ではないか。
- 公民館は地域介護の拠点でもあるにも関わらず、廃止されて高齢者が遠方まで行かなくてはならなくなるのは問題だ。今後さらに高齢者が増えることを考えると、公民館の再編の際にはアクセスが課題になる。

②文化施設

- これまで大沢野文化会館が担っていた役割のうち、大久保ふれあいセンターや大沢野生涯学習センターで代替できないものは、新しく機能を確保する必要がある。

- 芸術文化系のコンサートやイベントを開催し、地域外からも人を呼んで活性化に結びつけようと考え、大久保ふれあいセンターや大沢野生涯学習センターのホールでは規模や設備が不十分だ。500人規模の多目的に使えるホールが必要になる。
- 500人規模のホールを作るのであれば、施設周辺の住民だけでなく、遠方の住民のアクセスを確保する必要がある。コミュニティバスなどの仕組みを検討してはどうか。

(2) 社会教育系施設

- 生涯学習センターは、利用申請に手間がかかり、インターネット等で予約状況を確認することもできないので不便だ。もっと手軽に利用できるのなら、民間のレンタルスペースを入れてもよいのではないか。
- 生涯学習センターの調理室は、10人以内の規模なので、もっと広い20人規模のものがあるとよい。地域内に自宅で料理教室を開いている人がいるので、そういう教室が生涯学習センターで開催できれば、若い層が利用するきっかけになるのではないか。
- 子どもたちが富山駅前図書館まで行くのは大変なので、地域の図書館は残すべきだ。大久保地区で子どもが増えている現状や、子どもが本に接する機会を増やすという教育的視点から考えると、逆に図書館や図書室を増やす必要があると思う。
- 民営化すると、レファレンス機能が低下したり、地域の歴史を継承するという役割が軽視される傾向があるので、図書館を民営化してほしくない。

(3) スポーツ・レクリエーション系施設

①スポーツ施設

- スポーツ施設に体育館機能だけでなく、武道場や入浴などの機能も複合させ、夜間利用もできるようにすれば、利用率が上がるのではないか。
- 武道館の代替は必要だ。多目的なスペースに畳を入れれば、武道場としても使えるのではないか。ただし、柔道だけは学校の教室程度の広さでもよいので、固定の畳のある場所でないと使いにくい。
- 大沢野プールは無料だが認知度が低い。大人はウィンディのプールに行っているし、屋外プールなので、このところの暑さを考えても、利用者は少ないのではないか。

②観光施設・宿泊入浴施設

- ウィンディの主な利用者は、高齢者で遠方からもきている。介護予防というのは重要な視点だと思う。
- 高齢者の利用が多いとはいえ、夏休み期間中は子供たちでも賑わっているので、高齢者以外の層が使いなくなるのは問題だ。若い世代がいるからこそ、高齢者も行くと思うので、今のまま維持する方がよい。
- ウィンディには、ヨガ教室などを目的に訪れる元気な高齢者が多いが、そういった活動が、レクリエーションと見なされて縮小されるのは問題なので、介護予防に繋がるものだと考えてほしい。
- 猿倉山森林公園は景色が良く、バーベキューもできるととても良い観光資源だと思うので、残してもらいたい。現状では十分に活用されていないので、民営化には賛成だが、規模が大きいのので請ける企業が出てくるかという不安はある。

(4) 学校教育施設

- 地域にとって子どもの存在は大切で、規模の大小に関わらず学校があることが重要だと思うので、なんとか学校を存続してほしい。
- 大久保小学校は築 61 年で老朽化が進んでいるが、改修しても根本的な対策としては不十分だと思うので、人が増えている地区であることも踏まえて、建て替えをしてほしい。

(5) 子育て支援施設

① 幼保・こども園

- 統合して新しい園をつくる際には、小学校に隣接する場所に建設できると、兄弟がいる保護者にとっては送迎が楽になるのでよい。

② 幼児・児童施設

- 児童館、学童保育、中高生の居場所などが不足しているのに加え、既存施設での飲食などの運用ルールが、利用者ニーズに合っていない。空き教室などを活用して、柔軟性のある子どもたちの居場所をつくってほしい。

(6) 保健・福祉施設

- 高齢者向けの施設は、大沢野地区に集中しているが、大久保地区の人口が増えているので、今後は大久保地区でも必要とされるのではないかと。
- 車を使えない高齢者が多くなってきている現状を考えると、自家用車以外のアクセス方法を確保することは課題だと思う。
- 高齢者いきがい工房は利用者が少なく、顔ぶれも変わらないようだ。通っている人にとっては、生きがいになっているので、高齢者以外にも門戸を開いて多世代交流ができるようにし、活性化を図って維持できるとよい。

(7) 行政系施設

- 本庁に行かなくても、大沢野の行政サービスセンターで全ての用件が済み、平日夜や土日にも手続きできるようになると、働く世代が利用しやすくなる。どの部署に行けばよいのかわからない案件もあるので、案内してくれる窓口があるとよい。
- 大沢野から婦中に一部の部署が移動したため不便になったと感じているので、今後規模を縮小したとしても、これ以上部署が減ることがないようにしてほしい。
- 現状の行政サービスセンターの規模は大きすぎると思う。コンビニで行政の手続きができるようになり、確定申告もネットでできる時代なので、今後ますます広いスペースは必要なくなるだろう。

2 リーディングプロジェクトについて

(1) 目指すべき施設像（コンセプト）

- 充実したホール、武道場、生涯学習の場などを複合し、富山市の中心部などの地区外からも人が集まり、賑わいが生まれ、地域の活性化につながる施設にする。
- 市の中でもこの地域は安心安全な場所であり、それが地域の誇りなので、地域の防災機能を強化し、災害時には本庁舎の代替として防災拠点にもなる施設が作れるとよい。

- 地域住民の生活を充実させることを重視し、子どもから高齢者に至るまで、そこに行けば必要な機能がなんでも揃っていて、用事が全て済むようになるとよい。
- 子育て支援機能を充実させ、ワンストップで子育てに関連する様々な施設が利用できる場にする。

(2) 求められる機能

- 地域活性化のために、地域外からも人が呼べる施設にすることを考えると、著名人のコンサートや大きなイベントを開催できるだけのスペースがあるホールが必要だ。ホールに加えてレセプションルームもあるとよい。
- 大沢野文化会館では、結婚式以外のパーティーはあまり行われていなかったもので、宴会のための部屋や控え室、大きな調理室などのホール以外の機能はなくてもよいと思う。
- 生涯学習が盛んな地域なので、生涯学習センターだけでは足りない。生涯学習センターの部屋は小規模なものが多く、人数が多いと使いにくいこともあるので、間仕切りを取れば、大規模な会合でも使えるような活動スペースがあるとよい。
- 災害対策本部として本庁舎の代替となれる機能を備える。近隣住民が避難するのに十分なスペースを確保できるように、ホールの規模や設えを考え、調理室を備えたり、消防署を移転することも検討する。
- 飲食できる子ども達の居場所、図書館、学習スペース、病児保育所、ファミリーサポートセンターの登録窓口など、子どもや子育て世代が利用する施設が集約されているとよい。
- これまで行政サービスセンターにあった機能は継続してほしい。
- 子育てと介護を同時に行っている世代も出てきているので、子育てと介護の相談窓口が隣接してあると利便性が高い。
- 武道館の代替えとなる機能を複合施設にいらしてほしい。多目的スペースをつくり、武道にも使えるようにできるとよい。
- 歴史や郷土への思いを、後世に伝えられる仕組みがあるとよいと思うので、大沢野の歴史や著名人を紹介する場を設けてほしい。

- 新たに作る施設には、廃止や建替える施設の機能のうち、既存施設では代替できないものを入れることが望ましい。また既存施設と機能が被らないように考える必要もある。特に近接する生涯学習センターや小学校との分担を考えることが重要だ。
- 立地的に大通りに面していないし、文化系施設との相性も良くないので、スーパーやコンビニなどの民間の商業施設を入れるイメージではない。
- 多くの人が集まることが想定されるので、地域の移動の足が自家用車であることを踏まえると、十分な駐車場を確保する必要がある。
- 複合施設にバス停やバスロータリーを整備できると、高齢者や子どもをはじめとするバス利用者の安全性が確保でき、施設の利用も促せるのではないか。

(3) 建物・デザイン

- 無機質な高層のビルではなく、平屋や低層で、富山県産の木材など使ったぬくもりのある空間になるとよい。
- 50年と言わず、100年使えるような堅牢な建物にしてほしい。
- 生涯学習センターの建物を残す場合には、新しい建物と渡り廊下でつなぐなど、相互の行き来のしやすさを考えてほしい。
- 多くの機能が複合されて施設内で迷うことがないように、配置をわかりやすくし、案内窓口や案内板も設置してほしい。

(4) 運営

- 施設を複合化するのであれば、各施設のイベント情報を一元化して、相互の利用者アップに繋げるなどの工夫が必要である。ホールと図書館などが連携できると効果的だ。
- 施設の運営を全て職員に任せるのではなく、ホールでのイベント企画などに、地域住民も積極的に参加できるとよい。住民が運営するスペースがあると使いやすいのではないか。
- 複合施設に民間事業者が入る場合には、施設までのアクセス手段もその事業者へ委託してはどうか。たとえば、循環バスの運行などが考えられる。

3 その他

(1) 進め方

- そもそも公民館はどのような目的や役割があって建てられているのだろうか、それを理解した上で統廃合について検討したい。
- 複合施設を考える際には、他の地区の事例を参考にした方がよい。どんな機能が複合されているかだけでなく、利用のされ方も参考になる。実際に利用している利用者の声を、大沢野地区の計画に生かせるとよい。
- 何年後を目指した話をすればよいのかがわからない。参加者の中で時間軸の感覚が異なり、5年後で考えている人もいれば、10年後、20年後を考えている人もいるのではないか。リーディングプロジェクトも同様のことが言えるが、何年後の実現を考えているのかを明確にして話をしたい。
- 施設によって立地周辺の人口が異なるので、たとえ数値が低くても地域住民の利用率は高い場合がある。また、複数の機能が集約されている場合はどこに人が来ているのかが正確に特定できない。そういったことを踏まえると、稼働率だけを重要して施設再編の判断をするのには疑問を感じる。

(2) 質問・要望

- 富山市公共施設等総合管理計画の基本的な方針を策定した根拠を知りたい。計画を作成した時期と今では状況は異なるのだから、そのまま方針を採用するわけにはいかないのではないか。
- リーディングプロジェクトの予算を示してもらいたい。複合施設の規模がイメージできない。
- 富山県立山町役場と町民会館も集約化されると思うが、この地域から近く、似たような機能が複合されると思うので、どんなプランになるのか気になる。
- 稼働率を年間の数値で見ると、低すぎるのでどのくらい使われているかがイメージしづらいので、月別に落としたらどうだろう。
- 公共施設の再編やまちづくりに深くかかわるので、大沢野文化会館の解体時期を知りたい。